

# 日本デジタル医学会抄録集原稿執筆の手引き

○田中 健\*, 鈴木 康子\*\*  
\*健康大学健康学部, \*\*健情大学情報工学部

## Friendly Guidelines to Complete Papers to Digital Medicine and Healthcare Symposium

○Ken TANAKA\*, Yasuko SUZUKI\*\*  
\*Faculty of Healthcare, Healthcare University  
\*\*Faculty of Information Technology, Kenjo University

**Keywords:** keyword1, keyword2, keyword3, keyword4 and keyword5

キーワード: キーワード1, キーワード2, キーワード3, キーワード4, キーワード5

**Abstract:** 英文で記載

### 1. はじめに

日本デジタル医学会では、ICTとヘルスケアに関心のある方でしたらどなたでも入会できます。大学、研究機関、医療機関、企業などでICTとヘルスケア分野に従事する方々、医療・介護ケアに従事する方々、特にヘルスケアの実務現場で日々実践する方々の役に立つような学会になることを目標としています。

学術大会抄録集は、A4版で著者が自ら作成した原稿に対し白黒オフセット印刷にて制作します。

### 2. 執筆要項

論文形式の原稿は、以下の執筆要項に従って作成し、投稿して下さい。文書作成や図・グラフ作成において、過剰な装飾が暗黙のうちに選択され、事務局での編集作業が複雑になりつつあります。この執筆要項に合わせる事が困難な方は、事務局にご相談下さい。

#### 2.1 ページ設定・規定頁数

印刷用紙はA4版白紙とし、余白は上下25mm、左右20mm、論文の規定頁数は原則として2～6枚(偶数頁)とする。審査の原稿の各頁のフッター中央部に頁番号(Arial 11pt)を1から始めて記入すること(この数字は編集・製版時に、事務局で貼り替える)。他の各頁のヘッダー/フッターの項目は本執筆要項のものをそのまま設定すること。

#### 2.2 タイトル部

- ・和文論題(ゴシック, 18ポイント(pt), 中央揃)
- ・和文著者氏名(P明朝など, 12pt)
- ・和文所属(P明朝など, 10pt)
- ・英文論題(Arialなど, 14pt, 中央揃)
- ・英文著者氏名(Times New Romanなど, 12pt, 中央揃)
- ・英文所属(Times New Romanなど, 11pt, 中央揃)
- ・Abstract (up to 200 words, 9pt, 左揃)
- ・English keywords (up to five, 9pt, 左揃)
- ・和文キーワード(5個, 9pt, 左揃)

以上は1段組みとする。外国人が含まれている場合、音読を

助けるためにもローマ字表記をつける。連名者がいる場合、発表者には、和文氏名の左側に○をつける。

#### 2.3 本文

本文は2段組みで作成し、文字はMS P明朝を原則とする。文字サイズは9ポイント(pt)、行間15pt、但し、段幅を越えた図表を組み込み、あるいは2段通しの図表を入れることを排除するものではなく、図や表の見やすさ、複雑さを考慮して選択する。章の番号、タイトルは10pt、ゴシック体、センタリングとする。英数字にはピッチ可変(proportional font)の字体を勧める。和文にもピッチ可変フォント(MSP明朝、MSPゴシックなど)を使うと良い仕上がりが期待される。規則や規格などフォーマルな文面ではMS明朝、或いはMSゴシックなど固定ピッチ文字が適している。

和文の強調箇所には、ゴシック字体を用いる。太字、Boldを使うと文字がつぶれて、読みにくい場合がある。

#### 2.4 図表の記入

図、表にはタイトル(明朝, 9pt, センタリング)を付ける。和文、英文の両方のタイトルを付けてもよい。図、表の番号は、それぞれ、図1, 図2, …、Fig. 1, Fig. 2, …、表1, 表2, …、Table 1, Table 2, …のように通し番号とする。単純な表では、必ずしもすべての罫線が必要ではなく、また複雑な表では罫線に太さや濃淡を付けるなどデータの識別性に配慮すること。

#### 2.5 参考文献など

本文に続いて、(謝辞、) 参考文献を配置する。(括弧)で示すものは、頁に余裕がある場合に、必要に応じて加える。

##### (1) 引用

本文中での参考文献の引用は、引用箇所に[1], [2], [4-6]などと付ける。

##### (2) 文献の記載

参考文献は以下のような順序で本文の末尾にまとめる。

## ・雑誌の場合[1]

著者名, 題目, 雑誌名(略記にて可), 巻(太字), 号, 頁,  
発行西暦年

## ・書籍の場合[2]

著者(または編者)名, 書名(編者), 発行所, 頁, 発行西  
暦年

なお、著者(または編者)名の後はコロン「:」、題目そのほか  
の区切りはカンマ「,」とし、発行西暦年は小括弧「()」で囲む。

著者(または編者)名は、和文の場合[4]、姓のみ列記し、カ  
ンマ「,」で区切る。著者が多い場合には、代表的な著者名を  
記載し、その他の著者名を「他」で省略することができる。英文  
の場合[5]には、「姓, 名のイニシャル」を列記し、カンマ「,」で  
区切る。著者が多い場合には、和文の場合と同様に「et al.」で  
省略することができる。

(記載例)

## 参考文献

- [1] 著者: 題目, 雑誌名, vol. 3 (号), pp.1-10 (2001).
- [2] 著者: 題目, 編集者, 書籍名, 巻, pp.1-10, 出版社  
(2000).
- [3] 著者: 書籍名, pp. 1-10, 出版社 (1999).
- [4] 木暮, 牧園, 宮田: オンライン時代の医療をめぐるわ  
が国の法制度上の課題, 情報通信学会誌, pp.  
81-86, Vol.38, No.2, 情報通信学会 (2020)
- [5] Farley, W. and Smith, R.N.: Mobile Interactions in  
Agriculture, Human Computer Interaction, vol. 3, pp.  
112-120 (2001)

## 4. 提出書類

日本デジタル医学会第1回年次学術大会事務局宛  
([info@jsdmh2025.org](mailto:info@jsdmh2025.org))に、1. Wordのデータファイル 2. PDF出  
力したファイルの両方を電子メールの添付ファイルとして提出  
してください。原稿の頁番号等の書式調整は事務局でおこな  
います。

- 1. Wordのデータファイル
- 2. PDF出力したファイル

**原稿締切日は2025年9月15日(月)必着です。**

締切日に遅れた原稿はタイトルと発表者名のみ掲載になります。

## 5. 問い合わせ先

提出書類や執筆要項に関するご質問・ご相談は、下  
記までお問い合わせください。

問合せ先: [info@jsdmh2025.org](mailto:info@jsdmh2025.org)